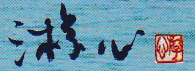


第6回東日本大震災復興支援チャリティコンサート

真夏の第九



わが祖国より第1曲『高い城』スメタナ

交響曲第9番『合唱付き』ベートーヴェン

指揮：阪本 正彦

演奏：震災復興支援「真夏の第九」

独唱：Sop. 加藤 千春 Alt. 小谷 円香 Ten. 渡辺 大 Bar. 増原 英也

合唱指導：小谷 円香

2018年8月19日(日)

13:00 開場 14:00 開演

大田区民ホール・アプリコ

全席自由 ¥1,000

お問い合わせ
真夏の第九実行委員会

hukkodaiku@gmail.com

050-5243-3143

東京都大田区蒲田 5-37-3



主催：震災復興支援「真夏の第九」 共催：槌音プロジェクト NPO法人Mother Board「日本の道」

『先生、オーケストラで第九を歌いたいんだ』

この一言で始まった公演も今回で6回目になります。第1回真夏の第九公演を開催するにあたり出会った「大槌町にホールを！」の理念の下、毎年参加者は少しずつ増えています。大槌町に音楽ホールができるまで！を合い言葉に団員一同演奏し続けて参ります。

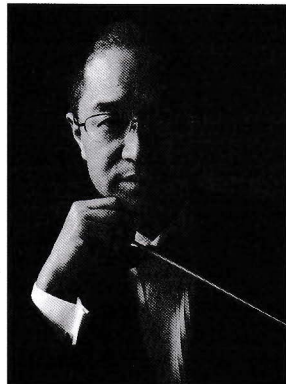
音楽と触れ合う町、岩手県大槌町に夢の音楽ホールを♪音楽ホール槌音《つちおと》プロジェクト

槌音プロジェクトは、大槌と繋がった日本中、世界中の音楽を愛する皆様と交流し、大槌から「感謝と元気」を音楽や郷土芸能で発信する場所としてそして町民の皆さんがいつでも音楽や芸能と触れ合える音楽ホール「槌音」をつくりあげたいと思い活動しております。

音楽ホール「槌音」は、大槌の復興のシンボルとして何時でも音楽に溢れ人々が集える場所となり、大槌の文化の継承・発展に寄与します。

そして、日本中、世界中から人々が大槌に集い自然豊かな大槌の魅力を堪能していただくとともに震災の記憶を絶やすことなく全世界に発信し続けます。

指揮 阪本正彦



東京都青梅市出身。1987年東京藝術大学卒業。ホルンを宇田紀夫、守山光三、千葉馨、室内楽を村井祐児、海鉾正毅、指揮を湯浅勇治、高階正光、松沼俊彦、下野竜也の各氏に師事。

1985年神奈川県県立音楽堂推薦音楽会に出演。1986年東京交響楽団入団。

オーケストラ活動のみならず、アマチュアオーケストラ、吹奏楽等への丁寧な指導、指揮にも定評がある。湯浅勇治氏（ウィーン国立音楽大学准教授）による指揮セミナー聴講を契機に、指揮活動を本格化、フィンランドでのヨルマ・パヌラ指揮マスタークラス（2012年）、フィレンツェ国際指揮マスタークラス（2013年）、ブダペスト国際指揮マスタークラス（2015年）に受講資格を得て参加し、オーケストラと共に演奏の喜びを分かち合うなど、指揮者としての研鑽を重ねている。

2013年より震災復興支援真夏の第九チャリティーコンサートを開催。

2014年にはマーラー交響曲第5番、歌劇「椿姫」などを指揮、同年末にはあまみエフエムプレゼンツ市民第九祭（奄美第九演奏会）に招聘され、好評を得た。

今夏はKTS室内オーケストラとしては初めての4期連続の共演、来年には、東村山交響楽団との初共演も予定されており、市民オーケストラとの関わりも多い。

現在、東京交響楽団ホルン奏者、ピアノと木管五重奏ゼクステット魅生瑞（みゆうず）メンバー、Glanz弦楽合奏団主宰・指揮者、横須賀交響楽団顧問及び副指揮者、Ensemble à la carte 指揮者。

ソプラノ 加藤千春



東京藝術大学声楽科卒業、同大学院修士課程オペラ科修了。在学中に芸大定期オペラ「魔笛」夜の女王でデビュー。二期会オペラスタジオ修了時に成績優秀賞受賞。英国トウリニティ音楽院首席卒業。レイランド音楽祭声楽コンクール第1位。新・波の会日本歌曲コンクール入選。「フィガロの結婚」スザンナ、「コシ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「愛の女庭師」セルベッタ、「修道女アンジェリカ」ジェノヴィエツファ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「電話」ルーシー、「愛の妙薬」ジャンネッタ、カヴァッリ「ラ・カリスト」リンフェア（日本初演）、W. フェラーリ「スザンナの秘密」スザンナ、青島広志「火の鳥くやマト編」カジカ、木下牧子「不思議の国のアリス」（初・再演）白兔などを演じる他、日英双方でリサイタル開催、またコンサート歌手、第九、宗教曲のソリストとしても活動。二期会、東京室内歌劇場、横浜シティオペラ、日本ヘンデル協会、各会員。

アルト 小谷円香

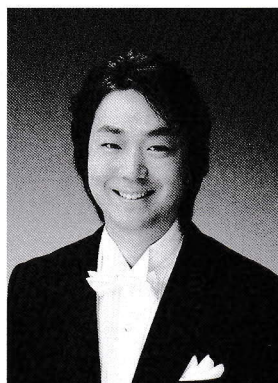


東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後はオペラ「蝶々夫人」のいとこ役でブルガリアンカンパニーの一員として出演。スペインを1ヶ月かけ26都市巡演し、ドイツ・フランクフルトでは1ヶ月連続公演に出演した。主な出演作品はオペラ「カルメン」タイトルロール、「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントウツァ、「トロヴァトーレ」アズチェーナ、「アイダ」アムネリス、「リゴレット」マッダレーナ蝶々夫人」スズキ他。

昨年末には西アフリカベナン共和国、日本大使館主催天皇誕生日レセプションにて、日本、ベナン両国国歌を独唱した。

大震災復興支援コンサート「真夏の第九」事務局長。

テノール 渡辺大



明治大学混声合唱団を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。在学中より小澤征爾音楽塾にて研鑽を積んだ後、佐渡裕プロデュース『椿姫』ガストン役、『フィガロの結婚』バジリオ、クルツィオ役にて出演。佐藤しのぶ主演『夕鶴』では与ひょう役にて共演を果たした。三枝成彰の新作オペラ『KAMIKAZE-神風-』世界初演では山口耕太少尉役で出演し音楽の友誌他で好評を博した。ソリストとしてはサントリーホールにてヴェルディ「レクイエム」（小林研一郎指揮）に抜擢。

ファエンツァ、ローマではV.チマッティ作品のイタリア公演に出演し好評を博した。これまでモーツァルト、グノー、ハイドン、M.ハイドン、プッチーニ等の宗教曲の他、「メサイア」、「第九」、東フィル長岡特別演奏会「合唱幻想曲」等にて出演。"期待の若手声楽家たち"として「ハンナ」誌に掲載された。フェリス女学院大学非常勤助手。日本声楽家協会講師。啓声会会員。

バリトン 増原英也



琉球大学法文学部卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科及び同大学院修士課程修了。学部在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞の各賞を受賞。国内のオペラ公演に多数出演。2010年より渡伊。バルマ国立音楽院アッリゴ・ボーイトを首席で修了。ディプロマを取得。バルマ王立歌劇場をはじめイタリア各地の劇場でオペラ公演に出演。

2013年韓国テグオペラフェスティバル《ドン・ジョヴァンニ》に招聘出演。2014年帰国。二期会、日生劇場等のオペラ公演や、東宝「レ・ミゼラブル」に出演するなど幅広く活動している。二期会会員。サントリーホールオペラ・アカデミー・コーチングファカルティ。